



湯梨浜町版「生涯活躍のまち」へ

1

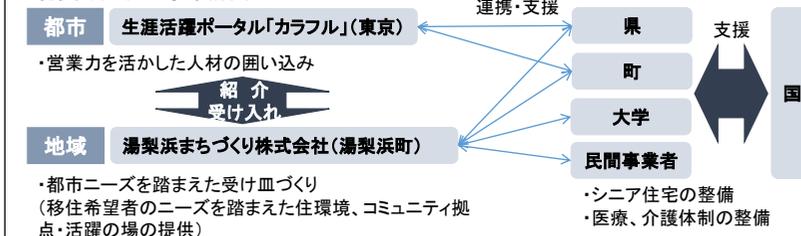
生涯活躍のまち構想の概要

基本的な考え方

都市圏をはじめとする地域の移住希望高齢者等に対し、その方の経験や人脈を活かせる活躍できる場を提供するとともに、必要な医療・介護を継続的に受けられる体制を整備することにより、湯梨浜町への移住を促進し、地域の課題を解決するための人材の誘致につなげる。これにより、**移住者だけでなく地元住民に暮らしやすいまちづくりを進める。**

- ①従来の高齢者施設等は要介護状態になってからの入所、入居が通例であるが、「生涯活躍のまち」構想では高齢者は健康な段階から移住し、地域の仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加する「主体的な存在」であることを想定している。
- ②さまざまな地域ニーズに対応した人材を幅広く誘致する必要があることや、特定の年齢に偏らず、幅広い年齢構成とすることが、安定的かつ持続的な地域づくりにつながることから、多世代層の移住や大都市圏以外の近隣地域からの移住も想定する。
- ③人材誘致にあたっては、地域課題を解決するために必要な人材のニーズを協議会等を通じて把握し、それに合った人材を優先的に誘致することとする。

人材受け入れの事業計画



2

なぜ生涯活躍のまちに取り組むのか

<湯梨浜町の直面する課題>

人口減少と少子高齢化の進行 →多世代が充実した生活と安心して暮らせる町をつくる必要がある

<総合戦略における湯梨浜町の3つの基本目標>

活力のある元気なまち

安心して暮らせるまち

町民みんなが創るまち

<総合戦略のひとつの取り組みとしての「生涯活躍のまち」>

こうした中、平成27年度に町、県、(株)コミュニティネット、大学、医療福祉機関、金融機関とて湯梨浜町版生涯活躍のまちモデルプランを策定し、生涯活躍のまちを形成するための方針等を整理した。具体的に取り組む事項として

- ① 移住支援に関する取り組み(移住相談、職業相談、ツアーやセミナーの開催)
 - ② 住環境整備に関する取り組み(空き家の活用とサービス付き高齢者向け住宅等の整備、町営住宅の建替え)
 - ③ 拠点整備に関する取り組み(多世代交流施設の整備)
 - ④ 社会的活動に関する取り組み(地域交流の活性化)
 - ⑤ 医療介護に関する取り組み(地域包括ケアの構築)
- の5点が示された。

3

人口の動向

<湯梨浜町の人口(国勢調査)>

自治体名	平成22年(国勢調査)	平成27年(国勢調査)	増減	令和2年6月1日(※)
湯梨浜町	17,029	16,550	△479	16,005
鳥取県	588,667	573,441	△15,226	552,265

(※)「鳥取県の推計人口」より引用

<自然動態>

年次	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
自然増減	▲61	▲103	▲83	▲70	▲100	▲108	▲99	▲127	▲135
出生数	159	136	161	144	153	117	151	127	130
死亡数	220	239	244	214	253	225	250	254	265

<出生>

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
出生数	139	159	136	161	144	153	117	151	127
前年比	▲16	20	▲23	25	▲17	9	▲36	34	▲24
合計特殊出生率	1.74	1.89	1.71	2.06	2.04	2.26	1.59	2.15	1.84
合計特殊出生率(鳥取県)	1.54	1.58	1.57	1.62	1.60	1.65	1.6	1.66	1.61

<社会動態>

年次	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
社会増減	▲14	14	0	▲4	▲75	▲62	47	74	▲25
町外からの転入者数	500	551	540	531	472	527	545	535	521
町外への転出者数	514	537	540	535	547	589	498	461	546
うち県外転入増減	▲66	▲21	▲22	▲69	▲41	▲72	▲26	▲30	▲57
うち県外からの転入者数	180	199	183	173	169	176	187	195	185
うち県外への転出者数	246	220	205	242	210	248	213	225	242

4

生涯活躍のまちのイメージ（平成28年度の基本計画をもとに更新）



生涯活躍のまち実現に向けた重点課題のイメージ

<p>移住促進</p> <p>お試し住宅、交流の場</p>	<p>湯梨浜の情報発信 ふるさと納税</p>	
<p>健康増進</p> <p>ノルディックウォーク、卓球、体操など</p>	<p>地域包括ケア</p> <p>相談窓口、まちの保健室</p>	<p>住まいの整備</p> <p>高齢者向け住宅の生活</p>

民間の力を活用する湯梨浜まちづくり株式会社の設立

<会社概要>

- 設立 平成28年12月7日
- 出資金 1,360万円
- 所在地 湯梨浜町龍島500番地
(役場東郷支所2階A室)

湯梨浜まちづくり株式会社は 何をするのか

- ① 移住の促進
(移住コーディネート、お試し住宅の運営)
- ② Aコープ跡地・町有地を利活用した
「多世代センターゆるりん館・総合相談センター
どれみ」の運用
- ③ 住環境の整備に関する取り組み
- ④ ふるさと納税業務受託 など



湯梨浜まちづくり株式会社

YURIHAMA MACHIDUKURI Co., Ltd.

なぜ、まちづくり会社が必要なのか

- 「生涯活躍のまち」を推進するに当たり、営利な事業が発生するため官民連携の事業体（まちづくり会社等）が必要である。
- 事業推進にあたって、スピード感や原価管理が重要であり、民間の知恵が求められる。

7

生涯活躍のまちの具体的な多世代交流拠点（松崎駅前）の整備

- 多世代交流センターゆるりん館（平成30年11月オープン）・足湯[元気湯]（平成31年4月オープン）
多目的ホール、コミュニティカフェ（食堂）、マルシェ（買い物場）、カラオケ、相談室等の諸室を利用する。
- 総合相談センターどれみ（平成30年4月オープン）
移住定住の促進や空き家対策、住民交流の場として、居住者や移住者の受け皿となる相談の場として地域拠点の機能を果たす。また、職業相談所やまちの保健室としての機能を担い、地域活動の場として事業推進する。
- お試し住宅（まつぎ屋、もりた屋）
総合相談センターと連携して、湯梨浜町への移住の入口として、お試しで滞在、湯梨浜を体感していただく。



総合相談センターどれみ
お試し住宅まつぎ屋



お試し住宅もりた屋



多世代交流センターゆるりん館

8

レークサイド・ヴィレッジゆりはま開発事業

(旧ミドレークホテル跡地の活用による新たな住まい・施設の確保)

民間などによる拠点型住まいの整備構想 ※令和元年度 造成完了・分譲開始

※検討中事項もあり一部変更の可能性があります。

■福祉施設の整備

民間事業による福祉施設、サービス付き高齢者住宅等の整備を検討(福祉施設内に地域交流スペース)

■集約型町営住宅

町営住宅20戸程度を検討(町民、移住希望者等にも住環境の選択肢を広げる)

■分譲住宅

民間事業による分譲住宅の整備

■沿道施設

民間事業による買い物機能を備えた商業施設等の誘致



9

泊地域小さな拠点検討協議会による検討・基本構想策定

※提案であり、確定したものではありません。

<協議会からの提案>

■拠点の機能

- ・役場機能(行政サービス機能)
- ・コミュニティ機能
- ・店舗(買い物機能)

■その他

人口減少を食い止めるため、宅地造成や町営住宅建設を要望

施設名	方向性
役場泊支所	機能を継続。建物は改修。
中央公民館泊分館	機能を新拠点へ移行せず、継続する。 建物は将来解体し、新築する。
漁村センター	機能を新拠点へ移行。 建物は将来解体。
青少年の家	機能を新拠点へ移行せず、 建物は将来解体。

小さな拠点のイメージ図



公民館機能

(中央公民館泊分館解体、新築)



拠点の設置
場所案

Googleマップを加工

10